

# 見沼自然散策

2018.3.3

## 春を待ちわびて

春に先駆けて咲くタンポポは地面にへばりついて咲く。まだ朝晩は冷え込むから、高く掲げれば霜に当たるかもしれないし、風で折れるかもしれない。でも、綿毛の時は花よりも高く茎を伸ばし、種子を風に託す



タンポポは一枚の花弁のように見えるのが1つの花(左)。種を飛ばすときの綿毛は子房の上にある冠毛(ガクが変化したもの)

# 見沼たんぼ地域ガイドクラブ

<http://www.minuma-guide-club.com/>

## 早春の花たち

花が葉の上に乗る**ホトケノザ**(右)と葉の下から顔を出す**ヒメオドリコソウ**(左)



太陽が射すと青い絨毯のように輝く**オオイヌノフグリ**。

タンポポと同じキク科の**ノボロギク**(右)には花弁がない。左側の黄色い状態で開花、いつの間にか綿毛を出すので「ポロ」



## 冬を乗り越えて

寒い冬を乗り切るための秘策、それは葉を地面に張り付けること。丸く美しい並び方がバラに似ていると「**ロゼット葉**」と呼ばれる。



(1タネツクバナ 2タンポポ 3ナズナ 4アメリカフウロ 5ギンギン)

## 冬だけの天下

彼岸花は秋に花が終わると葉を出す。ほかの植物が茂っていない冬は上に葉を伸ばさなくても日が当たるから、地面にべたっと葉を広げる。でも、春になればそれも終わり。葉を枯らして眠りにつく



## 冬を乗り越えて

昆虫たちもまた、厳しい季節を潜り抜けて春を迎えるここに登場するのは成虫で冬を越す者たち。寒い時期は落ち葉や朽ち木の間に潜り込んでじっとしているが、暖かくなると動き出す

**ナミテントウ**は色も星の数も様々。それでも全部同じ種

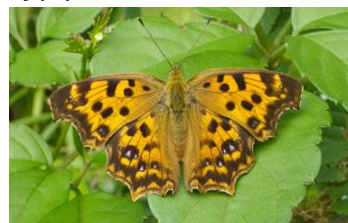


体が丸いテントウムシは鳥がつかみにくい形。それでも捕まえられたときには嫌なおいを出す。

左は**ナナホシテントウ**。キイロテントウ(右)は小さい



羽を広げ太陽を浴びて暖をとる**キタテハ**



**クビキリギス**も成虫で越冬、これからが恋の季節。

